

新潟県

公民館月報

昭和58年1月号

発行所 新潟県公民館連合会
【新潟市川端町2-9・県林業会館内】
【電話・新潟 (0252) 24-6073】【振替新潟 4049】

発行人 会長 石井 耕一
編集人 事務局長 本田 清
【定価1部 100円 年共 1,200円】



加治川分水水門遺跡

加治川分水の水門というところ、桜の名所、そして染井吉野の花のトンネルが眼前に浮んでくる。

加治川水系の宿願だった分水工事が完成しその偉業と喜びを、大正二年天皇御大典をも記念して、全堤防に三千木の染井吉野が植えられた。

特に水門附近の桜の生長は素晴らしく大正の末期より一躍桜の名所として全国に喧伝されるに至った。

延々と続く花の雲の上に、二王子飯豊の残雪が夕月に匂う景観は、月雪花の美の極致であった。昭和四十二年七・一七、翌四十二年八・二八の連続水害が起こり、改良復旧工事が実施された。上流頭首口よりの用水導入、そして堤防のかさ上げ川巾の隔幅がなされて桜は洗い堰と共に全部取り除かれたのである。不用となつた水門は記念公園の一環として、三角島より移された記念碑と共にヒソソリと残されている。

(絵と文)

紫雲寺町公民館

運営審議会委員

柄沢 弘作

第31回全国公民館振興大会



(カ)ット写真は祝辞を述べる山東昭子参議院議員。左上は優良公民館職員として表彰に輝いた佐藤善司氏

行革を乗り越えよう

緊急要望書を採択・手配

第31回全国公民館振興大会が十二日二日東京の、赤坂プリンスホテルで開かれた。全国の参加した市町村長、教育長、公民館の関係者八百名、本県からは池田新井市長、大平大和町長、柏崎市丸田社会教育課長など二十五名が参加した。

当日は文部大臣代つて大塚文部政務次官が祝辞を述べ、公民館振興国会議員懇談会メンバーで自民市町村長、教育長、公民館の関係者八百名、本県からは池田新井市長、大平大和町長、柏崎市丸田社会教育課長など二十五名が参加した。

このあと、元文部省社会教育局長今村武俊氏が「公民館に望む」の演題で約一時間余の講演。今村氏は社会教育発展時代の公民館、算盤の苦い話、社会教育指導員不足時のいきづな等の裏話など、筋のいい話、これからの公民館が

宣言
公民館が、生涯教育の中核機関として、今日ほどの活発な活動を期待されているときはなし。

右決議する。
昭和五十七年二月一日
第三回全国公民館振興大会

決議
われわれは、第三回全国公民館振興大会の宣言に基づき、次の事項が確実かつ速やかに実現・実施をみるよう、ここに決議するものである。

昭和五十七年二月一日
第三回全国公民館振興大会

要望書
公民館等の社会教育施設が生涯教育を推進する主要な機関として、また、地域住民の社会連帯意識を強化する中心的な機関として今日国民から期待される。その役割が重視されているときはなし。

このように、臨時行政調査会が公民館等の社会教育施設に対する国の補助金を廃止若しくは当分停止する方向で検討していると報道されている。

これは、公民館等の社会教育施設を整備状況を、抜本的に改善し、

昭和五十七年二月一日
第三回全国公民館振興大会

測定単位費用の大幅増額をはか

財政再建期間中でも公民館等の社会教育施設に対する国の補助を廃止若しくは当分停止など極端な措置を取ることのないよう強く要望する。

昭和五十七年二月一日
第三回全国公民館振興大会

右決議する。

とある。

右決議する。

右決議する。

右決議する。

とある。

右決議する。

右決議する。

右決議する。

とある。

右決議する。

右決議する。

右決議する。

とある。

右決議する。

右決議する。

右決議する。

公民館図書室振興に関する要望書

新潟県図書館協会 新潟県公民館連合会

新潟県図書館協会(古川渉会長)と新潟県公民館連合会(石井耕一会長)では、12月3日付文書をもって、図書館未設置の市町村長、同教育長に対して「公民館図書室振興に関する要望書」を提出しました。

これは、行政改革という厳しい情勢を反映して、現在でさえ、不十分な図書購入費が減額されないよう、また、公民館図書室のおかれている現状を十分に考慮され、最善の措置がとられるよう要望したものです。その全文と解説は次のとおりです。

『公民館図書室振興に関する要望書』

最近における急激な社会構造の変化、特に余暇の増大は住民の文化的要望、更にはその読書需要を急速に高めてきております。

しかしながら、これに対応する県内公民館図書室の現状は、量質ともにきわめて不十分であり、また、最近の財政事情の悪化も加わり、図書室の運営にとって、多くの困難が生じております。

ついで、住民の生涯学習並びに地域の振興に果たす役割の重要性を認識され、将来の図書館設置を目標に、社会教育推進上の重要な施策として、その機能が十全に発揮できますよう、昭和58年度予算編成に際し、次の事項について、特段の御配慮を賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 図書購入費の増額

公民館図書室が、小図書館としての役割と公民館の資料センターとしての役割の二側面が生かされるよう、図書購入費の増額に特段の御措置をいただきたい。年間2,000冊以上を収集の目標にしていいただきたい。

〔解説〕

利用されなくなった古い本、傷んだ本は、その棚を新しい本、よく利用される本に、入れ替える必要があります。魅力ある図書づくりの基本です。住民の15%を登録者に、人口1人当たり2冊の貸し出しを達成することを当面の目標にすれば、例えば、人口1万人規模の町村でも、年間の増加冊数は、約1,800冊以上、確保するよう、あらゆる努力をする必要があります。

〈人口1万人規模の町村の場合〉

ア. 登録率を人口の15%とする。

$$10,000人 \times 15\% = 1,500人$$

イ. 登録者1人年間貸出冊数を24冊とする。

$$1,500人 \times 24冊 = 36,000冊$$

ウ. 蔵書の回転を1冊4回転とする。

$$36,000冊 \div 4回転 = 9,000冊$$

エ. 1冊平均単価を1,500円とする。

$$9,000冊 \times 1,500円 = 13,500,000円 \text{ (購入費総額)}$$

オ. 図書の耐用年数を5年とする。

$$13,500,000円 \div 5年 = 270万円 \text{ (年間予算)}$$

2. 移動公民館車の活用

住民の近くへ図書を届ける活動を計画していただきたい。

〔解説〕

すべての住民が、図書を利用できるようになるには、地域に数多くのサービス拠点を整備することです。利用時間、サービス活動の方法、資料などが、住民の生活の実態、おかれている状況に即して、運営され、だれもが利用できるようにしなければなりません。

住民にとつての生活や仕事を支える生きた資料の提供者となりうる態勢づくりのため、移動公民館車は役立っていますので、運行について、十分配慮する必要があります。

3. 児童・老人に対するサービスの重視

児童・老人サービスを中心に、地域全体の読書環境の整備に取り組んでいただきたい。

〔解説〕

子どもは、未来に無限の可能性をひめた存在であり、この可能性を大きく伸ばし、子どもたちのすこやかな成長のために図書室の果たす役割が大きい。そのために、地域の学校と協力し、ストーリーテリング、ブックトーク、ブックリストの作成、その他、子どもと本を結びつける行事等の計画が必要となります。

高齢化する社会の中で、老人への生きがいを側面的に援助する必要があります。俳句、園芸等趣味のニーズのは握につとめながら、利用を拡大、深化させるよう努力する必要があります。

4. 専任職員の配置

読書相談やその他専門的業務の拡充強化に当る専門的職員を一名養成配置していただきたい。

〔解説〕

貸し出しや読書相談、学級、講座、集会、行事等に対する図書の活用や地域の子どもたちを本好きにするような働きかけができる豊かな知識と経験、資料を組織化できる専門的職員の存在は、円滑な図書室業務の展開のために不可欠であります。そのために、専任の専門的職員を一名養成配置する必要があります。

5. 担当職員の研修

当協会等の企画する研修会に出席させ、資質の向上につとめさせていただきたい。

〔解説〕

住民を知り、資料を知る。この二つを結びつけることができるのは、職員の長い経験と不断の研修です。図書室の利用を上手に活用するためには、職員の研修上の問題があります。つとめて研修会に参加させるよう努力する必要があります。

公民館のあるべき姿と今日的指標

— 総 集 版 —

全公連では15年前に発行した「公民館のあるべき姿と今日的指標」の復刻再刊の要望に答えて、新しく第二次の成案を合本し、「総集版」を発行した。

◎ 内 容

第一次成案

解 説

第二次成案 (新しく合本)

A 5判 350ページ 1冊 2,500円 (送料別)

◎ お申し込み先

〒 951 新潟市川端町2-9 県林業会館内

県公民館連合会事務局 電話 0252 (24) 6073

館の管理経営の課題と展望(4)

第5回全公研集会記録速報から

- (b) 役員体制～正副館長のほか若干の役員を配置していたが、次第に地域ニーズ対応の部活動組織に再編成されていった。
- ② 社会構造の変容と公民館の混迷
 - (a) 本市の中心産業のうち、農業は機械化導入とともに兼業化が進み農外就労が増大。加えて転入人口の漸増等により、公民館経営も農村型指向のみでは行き詰まる危惧が出てきた。
 - (b) 昭和48年のオイルショックを境に、地場産業(木工業界)の冷え込みと、以後の経済不況は館活動運営の阻害要因ともなった。
- ウ) コミュニティセンター設置と公民館
「住みよいまちづくり」推進を地域の自発性に期待し、併せて住民連帯促進のため昭和56年4月、校区公立公民館を廃止。新たに地区コミュニティセンターを配置、1年余を経過した現在、コミュニティ活動体と町内公民館の望ましい関わり方等、模索中である。

3. 社会教育行政等と町内公民館

ア) 公立公民館との関係

校区公立館配置時代、その事業の中で全校区挙げてのスポーツ、文化、福祉関係行事等の運営、財政、参加動員のすべてを町内館が協力負担。そのことがいつの間にか、町内館は公立館の指示、コントロールで動くもの、或いは公立館の応援団的存在といった観念が根づよく潜在化。

イ) 社会教育行政との関係

- ① 視聴覚機材の提供、講習講座の講師斡旋等の要望から、次第に活動計画や組織運営、財政問題等に指導助言を求める傾向が強まり、行政としても役員研修、運営研究等の場を持つて館経営の近代化を期待したが、実効には乏しかった。
- ② 規約のない館、規約が現状に合わない館というのが多かつたため、雛形を例示して整備検討を促進。この事は「類似館のあるべき姿」への認識高揚にも役立った。

4. 今後の課題と将来展望

ア) 主な課題

- ① 意識の錯誤～校区事業の一翼として参画、又は公立館のミニ型志向等が町内公民館の主たる役割という錯誤意識の改革問題。
- ② 財源の依存性～独自財源を持たず、行政区の財政援助に拠っているため、館の主体性が貧弱な町内が相当ある。町内館を住民自からのものとして主体性を確立するためには、館の独自財源確保は必須不可欠であることを強調しているところである。

イ) 将来展望

- ① 地域活動の推進体として～町内公民館が新しい生活コミュニティ形成を推進しながら、地域課題解決に向けての活動を主眼に、校区の総合コミュニティ活動とも呼応しつつ、町内館としての自治能力を醸成し、住民の自主的、自発的活動による「住みよいまちづくり」の推進機能を期待するものである。
- ② 施設設備の充実化～施設設備の拡充によって利便性が高まれば、住民の利用増大とともに周りの活動力が、地域の活力につながるという方向への努力を促進したいと考えている。

記 録 速 報

1. 討議された事項

- (1) 自治会長(区長)と町内公民館長の兼務について
- (2) 町内公民館の定義又は名称について
- (3) 町内公民館の財源について

2. 討議の内容

- 自治会長(区長)と町内公民館長の兼務について
 - ・自治会の組織(隣組)が有効に機能するので兼務もよい。
 - ・教育と行政ときちんと分けるべきだ。
 - ・その町の規模や事情により当分兼務もよいが方向としては分けるべきだ。
- (2) 町内公民館の定義又は名称について
 - ・分館と類似館、等々様の呼称があり、様々なイメージを持っている。話しがきかみ合わない。
 - ・町内館の役員のみでの研究の場にしたい。
 - ・名称の統一した見解のものがほしい。
- (3) 町内公民館の財源について
 - ・館費の徴収のこと、自治会費から分けて貰って使う等の利点不利。
 - ・自治会長が上で館長がその下だ、いや関係がないという話の根源は自治会費を分けて貰うからだ。
 - ・住民自治の学習をすすめる公民館がその行為に矛盾しないよう考える。

3. 成果と残された事項

- (1) 十分な討議とはいえないので明らかにされた事項として特記できないが、館長と自治会長兼務は事情もあるうが分ける方向をみた。
- (2) 今後の課題と残された事項
町内公民館の名称と定義づけが必要。



公民館関係法令・解説

公民館長・公民館主事・公民館職員・公民館運営審議会委員・社会教育主事・社会教育委員・教育委員会関係者・公民館を利用する人・社会教育関係団体関係者等の必携の書として広く活用されています。

◎内 容

教育基本法・社会教育法・社会教育法施行令・公民館の設置及び運営に関する基準規程・通達「公民館基準の取扱いについて」解説つき。

A 5判34ページ 1部 300円(送料実費)

◎お申し込み先

〒951 新潟市川端町2-9 県林業会館内
県公民館連合会事務局 電話 0252(24)6073

町内公民館(自治館・類似館など)における公民

第5回全国公民館研究集会在さる10月13日・14日長野市で開かれ、分科会記録が翌日速報として参加者の手に渡された。

この大会では、管理経営部会13分科会、事業活動部会27分科会が設定され管理・経営・事業活動の具体策について熱心に討議された。ここに内容の一部を要約して紹介していきたい。



四名の若者の
石像清掃のあと市立専文庫

燈台
この地を長岡市青年仲間つくり協議会と中央公民館は、成人式を機にクルーンを作っている若者に呼びかけ、昨年八月八日の日曜日、悠久山の石碑めぐりとクリーン作戦を
朝から三十分の若者の石像清掃のあと市立専文庫



若者とクリーン作戦

青木昭治

稲川明雄司書から、明治維新の激動する長岡の歴史を象徴する石碑一つ一つの説明を受け、先人の苦勞を多くすることができたのである。

討議内容
・対象区域、施設設備、職員配置、服務、經費および管理について
・これからはどうあるべきか

司会者 神奈川県小田原市中央公民館長 鳥海正喜

助言者 元長野市教育委員会社会教育課主幹 相沢金治

基調発表 福岡県太田市教育委員会事務局社会教育課長 吉田啓二

1. 本市の概況
・位置福岡県の南西(筑後川下流域)
・人口 50,024人(12,281世帯)
・面積 33.46km²・行政区 6校区
・公民館 公立1館、類似77館
2. 本市における町内公民館の推移

ア) 館発足時から経済成長前期
昭和24年ごろ発足をみた町内公民館は、地域民主化推進を軸にして、昭和29年4月市制施行とともに、旧町村単位に配置された校区公立公民館との連携協調を保ちながら、独自活動を積極的に展開。

- ① 施設状況～当初、その殆んどが老朽化した青年集会所を転用。その後漸次、各地とも新、改築等の整備をみる。
- ② 主要活動～フィルムフォーラム形式の座談、討論会。各種講習講座。環境衛生、生活改善等の地域活動。

イ) 経済成長期から低成長期
都市化現象は地域課題を多様にし、併せてテレビの普及が住民生活に大きく投影。進展容容する社会状況とともに館の運営、活動のあり方等に見直しの気運が高まった。

- ① 活動運営及び組織の見直し
(a) 活動面～戦後の再建という当初の命題も、年月とともに活動のマンネリ化を来とし、一つの反省期を迎えた。

この間、兵庫教育大学の徳谷先生を迎えて原社会教育協会主催の講演会が新潟市の白山会館で開催され、講演の後、先生をかくまうためだけに想い出した。この座談会に賛同するようお招きをいただいた。

「自ら燃えずして他は燃やせない」
この間、兵庫教育大学の徳谷先生を迎えて原社会教育協会主催の講演会が新潟市の白山会館で開催され、講演の後、先生をかくまうためだけに想い出した。この座談会に賛同するようお招きをいただいた。

この間、兵庫教育大学の徳谷先生を迎えて原社会教育協会主催の講演会が新潟市の白山会館で開催され、講演の後、先生をかくまうためだけに想い出した。この座談会に賛同するようお招きをいただいた。

公民館番頭日記 (2)

「自ら燃えずして他を燃やすではないか」と思うのである。燃やさないかと思ふのである。燃やさないかと思ふのである。

燃やさないかと思ふのである。燃やさないかと思ふのである。燃やさないかと思ふのである。

住民の自発的な学習意欲があくまで土台となる社会教育や公民館活動は、その住民の自発的な学習意欲をいかにして高めるかが基本的な課題となっているが、お二人の話をかみしめながら、住民の自発的な学習意欲を高めるためには、まず担当する職員自身の

新生公民館繁盛記

(26)

公民館は花ざかり、これまでですのに三十三館の公民館が登場。好評をいただいています。これからもう少しご紹介いたします。

三つ目の地区体育文化センター

新しい地域連帯生まれる

「吉田町北公民館は、地区公民館として、これというのを取らないうち、中央公民館として、規模、内容とも過大なものである上、体育館と連絡通路と真下に隣接を続ける吉田町が町で一体となった、超ラックスな均衡ある開発発展の一環として北体育文化センターとして、今年七月一日オープンした。」

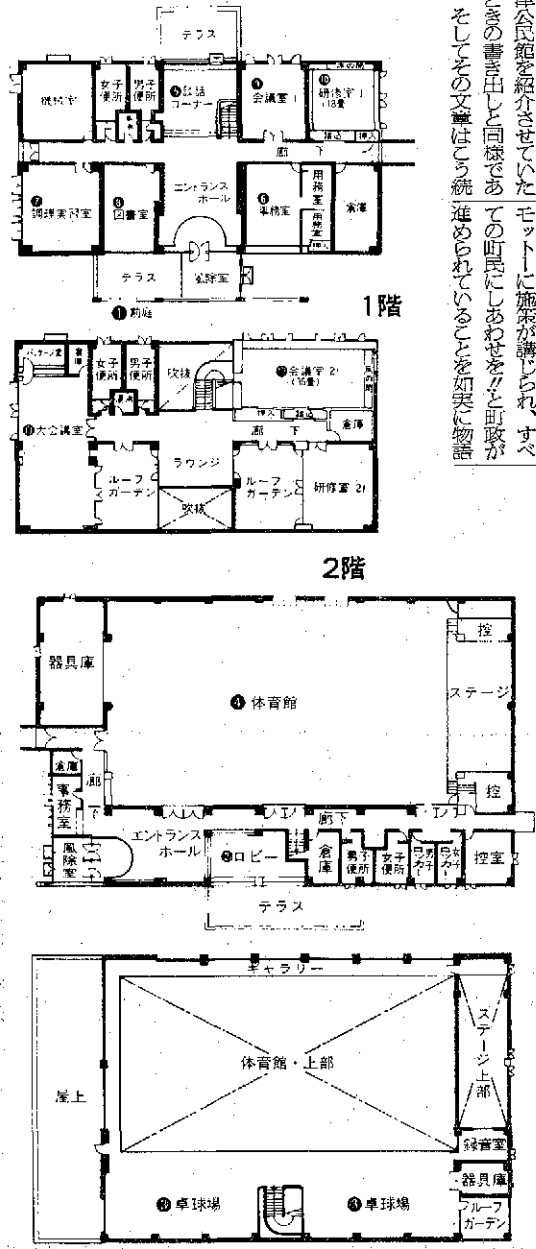
この書き出しは、さる七月十五日の吉田町北公民館月報において、吉田町長が、全町民に公平な行政を町長注進公民館を紹介させていた。その町長に、あつたす、すべ

「これというのを取らないうち、中央公民館として、規模、内容とも過大なものである上、体育館と連絡通路と真下に隣接を続ける吉田町が町で一体となった、超ラックスな均衡ある開発発展の一環として北体育文化センターとして、今年七月一日オープンした。」

この書き出しは、さる七月十五日の吉田町北公民館月報において、吉田町長が、全町民に公平な行政を町長注進公民館を紹介させていた。その町長に、あつたす、すべ



平面図



化センターは統合による小学校の敷地五、六二一平方メートル新しい学区と、統合による新しい保育所の区域の新天地を求めて建てられた庁舎であるため、こうした新しい人間関係を育てながら、力を合わせ新しい地域づくりに取り組むということが使命となっています。

館長は中央公民館長の兼務(栗生津も同じ)職員四人(男三女二)が、強力な地域婦人会、青年会、部落委員の目的活動を援助、指導しながら、オープン以来、職員、市民の盛況を続けています。

北体育文化センターの概要
 構造 鉄筋、鉄骨コンクリート造
 一階建て

敷地 五、六二一平方メートル
 建築面積 二、四五一平方メートル
 公民館棟 九六九平方メートル
 総事業費 五億三千三百万円

施設の内容
 体育センター
 遊技場(バレーボール一面・バドミントン一面・卓球一面)
 卓球台六台常設
 スターン・事務室等
 公民館
 ホール・図書室・調理実習室・会議室・研修室・事務室・談話コーナー・ラウンジ・ルーフトイレ等。

(吉田町公民館長 宮路 実)

公民館人必見の書

おしやべりはダイヤモンド

わが石井会長が随想集を出版

力が、ていどのないわかもやすい生を得、戦後は町三役の一人としせんする文章に支えられ読者をおきつけて公民館長を兼務、新しい町づく。同書の中からの一編(要約)を左紹介する。

二十五年時代、二・二六事件の閉

山長とひう激騰ダイヤモンドといつしられた題をなこし、かつ名の本を出版された。

内務は、少年時代から青年時代として知られる、のこ、兵役時代のこと、行政マ

地方自治体の主長として、公民館を知る第一人者である石井さん

刊別 新潟市川端町?、県民館内、県公民館連合会

わが県公民館連合会としての口説活動のなかで考え、星の飛ぶ時代のくることを解説して来たこと。

特別な油断に参加、九死に一生ひとも座右に備えられらるるう推

県内公民館人必読の書として、

刊別 新潟市川端町?、県民館内、県公民館連合会

この世の色

この世の色はバラ色であった。それは乳房にすがって見た母の胸の色か、または、まだ焦点が定まらず、あらゆる物が混然一体となって見えた色だったかもしれない。

この世の色がバラ色であった、という記憶は確かでないし、だれも信じてない。特別に考えたことでもなく、なんとなくそんな気がしてならなかった。極めて自然に書いたものである。

母に連れられて夕食後母の生家へ行き、夜の田んぼ道を帰った。東の山から昇った円く大きな月が、私についてくる。何回か見上げながら歩いたが、ついに家の前までついてきたことを不思議に思った。それはうれしくもあつた。生後一年ばかりの妹が母におんぶされていたので、私は四歳のときだと思ふ。

最初の記憶が美しいものであったことは幸いである。私は少年時代、旅行にはスケッチブックを持って出た。今でも絵を書く市長、と言われる。本格的な絵でなく、子どもものときの図画の延長に過ぎない。日展は毎年欠かさず観る。

私はこういふ書き出しで自叙伝を書いた。昭和十六年初めのことである。

支那事変(日中戦争)に召集されていた私は、前年九月に召集解除された。戦争は終局に向うどころか、拡大一途

父に連れられて町へ行き、はじめて夜の街を見た。街灯が一行に、遠くなるほど小さく並んでいるのを、突にき

いだと思つた。十六歳の秋初めて東京へ行き、銀座や新宿のイルミネーションを見たときの印象よりはるかに強烈である。



村松町公民館・主事 田辺 俊雄氏 (33才)

プロフィール

村松町公民館・主事

田辺 俊雄氏 (33才)

出動時間十分前には机に座り、女子職員の手出し朝茶を飲む。積、ゆつくり飲みながら仕事にとりかかる。あの仕事、この事務とまことに手ぎやよく仕事を進めていく。そして正確である。ときどき「彼の頭の中はどうなっているんだ。コンピュータでも入っているんじゃないか」と疑うときがある。ツペランというところを聞くが、彼にピツタリしている。

こういふと、聖物で仕事の虫のよに風われるが、どうしてどうして「辺さん辺さん」と同僚から上司から頼まれ信頼され、よい相談相手となっている。また、公民館が町民の窓口であれば、公民館の窓口は「辺さん」といわれるくらい町民からの人気が厚い。いまでも町民からの電話に應對しているが、親切に要領よく話している。いっただこの人の人望と信頼は、どこから生まれてくるのだろうか。「徳不孤必有隣」の人生哲学をもっているからであらうか。そういえば「田辺俊雄」ふりがなのとおり、あまの初任職でもある。お経を練えな首言はまことに英語で、マイクを持たせれば方言で話しかす。スポーツは片能なんでもこなし、絵画もよくする。公民館人である。最近では雑誌にも興味をもってきたが、まだまだ植物の心を知らず、葉っぱをあかくし残念がっている。

昭和二十四年生まれから、当年33才、これから花開かせたい人物である。家庭にあつては、一戸の上のま親である。好漢「辺さん」の今後の活躍に期待してやまな

村松町公民館長・渡辺巨治

あの頃のこと

二つの話合い

グループ (2)

五十嵐 秀太郎

昭和二十八年八月、私は畑之内小学校高等科の子供達と学生運動員に行っている工場で終戦を迎えた。二十一年九月、入道小学校へ転任し、青年学校の教諭も兼任して青年学校へも出た。

二十二年三月で青年学校がなくなつた。日本全体が新しい進路を模索している時、心のよりどころを失つた青年たちが、校長の所へ学習の場を求め相談に来た。結局、一番若い私の宿舎の夜、宿舎に集まることになった。

青年たちは、「こんな事を勉強したいのか。」と聞いても、青年たち自身から求める気持があつても、何をすればいいのか持たざるで居るのかはさっぱりわからない。

今、悩んでいること、最も関心をもっていること、なを具体的に話したいの場を下げあつてほしい。

恋愛のこと、友情のこと、結婚のこと、どうゆうてか、民主主義とは何か、文化国家とはどういう国家か、非合理性と合理性

農地解放は何のためにやるものか。というふいふなことを生活の具体的な問題から話した。私は司会兼助言者という立場で参加した。

時には、ハッとさせられるような深刻な問題が提出され、激しい討論になつた。

集まる者は十人程であつたと記憶している。

一年間続けて見て、やはり一応の組織とプログラムの必要を感じ、青年団と村青年団に働きかけて、青年団主催の「青年講座」を作ることにした。

しかし私は、翌二十三年三月、湯沢第二中学へ転勤になつた。ここでも、高等科や新制中学を卒業したばかりの青年たちの有志に誘われ、機長の了解を得て、私の宿舎の夜宿舎に集まって話したいの場を下げあつてほしい。

人数は十二、三、三人ほど女子が居た。七時頃から九時までを一区画にして女子の手を揃し、男子は十時まではあつてほしい。

この処置は大受好評で、五十嵐先生の集まりなら行って

「農地解放は何のためにやるものか。というふいふなことを生活の具体的な問題から話した。私は司会兼助言者という立場で参加した。」

時には、ハッとさせられるような深刻な問題が提出され、激しい討論になつた。

集まる者は十人程であつたと記憶している。

一年間続けて見て、やはり一応の組織とプログラムの必要を感じ、青年団と村青年団に働きかけて、青年団主催の「青年講座」を作ることにした。

しかし私は、翌二十三年三月、湯沢第二中学へ転勤になつた。ここでも、高等科や新制中学を卒業したばかりの青年たちの有志に誘われ、機長の了解を得て、私の宿舎の夜宿舎に集まって話したいの場を下げあつてほしい。

人数は十二、三、三人ほど女子が居た。七時頃から九時までを一区画にして女子の手を揃し、男子は十時まではあつてほしい。

この処置は大受好評で、五十嵐先生の集まりなら行って



道に越えてきた女たち

女たちの越えてきた道

高橋 ハナ著

自立への旅立ち

「女たちの越えてきた道」―自立への旅立ち―最も混乱の激しかった昭和二十年代のさなか、地域婦人会員のひとり一人が、この激動の時代をどのように切りひらき、新しい生活をたて直していったかということについての具体的な証言集であり、ドラマチックな女性生活史である。申込先

著者の高橋ハナさんは、当時、県教委の婦人担当の社教主事と、具林業会館内、県公民館連合会

ついでに「二十の扉」や「ゼスチニア」をやつて、キヤッキヤッ大さわぎをして楽しんでた。翌年、青年団に話しかけて、青年団主催の「青年講座」として定着させることができた。

このように、私は終戦直後赴任した入道・湯沢谷の二つの村で、青年たちとの話し合いのグループを青年団の学習活動として定着させた。青年学校の前身である。

やがて青年学校振興法によって青年学校が全国で作られるようになったが、青年の求めやまぬ意欲によって集まったこの二つのグループこそ、青年学校の名に値したと思つて居る。

(小千谷市図書館長)

あつておめでたうございませう。

振興大会(東京)、予算獲得運動(東京)とあつたたくさした前年でした。

予算獲得の詳しい結果については後号に譲りますが、とにかく熱烈な予算獲得を遂げたのが九十五億の要求に対して九十四億五千万円を獲得するとうまうまの結果となりました。

文藝部局もこれで五十八年度の予算獲得は何とか対応できそうだとおぼろげなホッとした胸をなでおぼしているところですが、随分賑々しいお祝いでした。

だいたいは心からお祝い申し上げます。(本)

残る迷信をききだせば集めて来ることとする。」

・青年期の心と行動

・恋愛、友情、結婚

・農村の民主化とはどうすることか。

・北まぐら伝説

・仏滅、大安、三日月は

・湯で顔を洗って年取つてからし

・わくちや婆さんになる。

・等々、たぐさ集まる。それらについて皆、話もあつて行く中から、農村の非合理性といわれるものなごであった。

・信仰と伝説宗教について

・人生訓を集めてみよう。

・そして、私だけでなく、校長をはじめ他の先生方も適宜加わつて行くことにした。

集まりを重ねて行くうちに、お互いの親しさがますます信頼感が深まつて行つた。

正戸にはレクリエーション大会と称して、少しばかりの会費をお茶券を買い、当事、ラジオでや

「女たちの越えてきた道」―自立への旅立ち―最も混乱の激しかった昭和二十年代のさなか、地域婦人会員のひとり一人が、この激動の時代をどのように切りひらき、新しい生活をたて直していったかということについての具体的な証言集であり、ドラマチックな女性生活史である。申込先

著者の高橋ハナさんは、当時、県教委の婦人担当の社教主事と、具林業会館内、県公民館連合会

ついでに「二十の扉」や「ゼスチニア」をやつて、キヤッキヤッ大さわぎをして楽しんでた。翌年、青年団に話しかけて、青年団主催の「青年講座」として定着させることができた。

このように、私は終戦直後赴任した入道・湯沢谷の二つの村で、青年たちとの話し合いのグループを青年団の学習活動として定着させた。青年学校の前身である。

やがて青年学校振興法によって青年学校が全国で作られるようになったが、青年の求めやまぬ意欲によって集まったこの二つのグループこそ、青年学校の名に値したと思つて居る。

(小千谷市図書館長)

あつておめでたうございませう。

振興大会(東京)、予算獲得運動(東京)とあつたたくさした前年でした。

予算獲得の詳しい結果については後号に譲りますが、とにかく熱烈な予算獲得を遂げたのが九十五億の要求に対して九十四億五千万円を獲得するとうまうまの結果となりました。

文藝部局もこれで五十八年度の予算獲得は何とか対応できそうだとおぼろげなホッとした胸をなでおぼしているところですが、随分賑々しいお祝いでした。

だいたいは心からお祝い申し上げます。(本)

資料歓迎

公民館で作成した資料や文芸作品集または領親などをお送りくださる方も、ぜひ、県内の皆さんへも紹介してまいりたいと思つて居ます。

投稿歓迎

感想文でも結構、折々、読んで気軽にペンを走らせてください。採用文には粗品を差し上げお喜びます。

―編集部―

あとがき